



# モーガン邸再建 募金への寄付のお願い

藤沢ヘリテイジセンターとしての活用へ

2022年3月

公益社団法人横浜歴史資産調査会(ヨコハマヘリテイジ)  
NPO 法人旧モーガン邸を守る会

## 奇跡の邸宅

モーガン邸(藤沢市大鋸)は1999年の発見後、解体危機を乗り越え、2005年に日本ナショナルトラスト(JNT)と藤沢市が取得しましたが、その後二度の不審火で焼損しました。2018年保存活動を続けてきたNPO法人旧モーガン邸を守る会と(公社)横浜歴史資産調査会が手を携え、藤沢市の理解のもと、再建と利活用に取り組みます。皆様の温かいご支援と募金へのご寄付をお願いいたします。

# 旧モーガン邸の建物と庭園はこんなに大きな価値があります

## 1. 旧モーガン邸建築の価値

- 大正期から昭和初期にかけて日本で活躍し、横浜において多くの優れた作品を残したアメリカ人建築家 J.H. モーガンの自邸です。
- 日本の文化・生活様式にも深い関心と認識を持っていたモーガンが日本建築の特徴を西洋館の中に取り入れた設計で、文化史的価値も高いものです。
- 藤沢市内の旧近藤邸(遠藤新設計)、グリーンハウス(A.レーモンド設計)と並ぶ、湘南地域の昭和前期の佳作です。
- 不幸にして不審火で焼損しましたが、創建時の写真、間取り、デザインが記録として残っており、外観や内装の特徴は十分再現可能です。
- 約 90 坪の規模の大きな住宅建築であるため、市民利用に供することのできる価値ある建築です。



和洋折衷の居間で和服姿で寛ぐモーガン



創建時のモーガン邸の全景写真



床の間と格天井の居間



J.H.モーガン邸 模型写真

## 2. 庭園の価値

- 敷地は 7,700 m<sup>2</sup>と広く、美しい庭園・門・アプローチ等も創建時の姿のまま残っており、建物と一体的に活用ができます。
- 2003 年以來、旧モーガン邸を守る会の公開活動により、地域の理解と共感のもと、地域住民や市民の交流空間、近隣のコミュニティスペースとして認知されてきました。今後も活動が期待されています。



庭のシンボルでもあるレバノン杉の  
大木とモーガン邸



門から中門に至る緑豊かなアプローチ



旧モーガン邸を守る会の活動写真



近隣の資源ネットワーク図

- さらに俣野別邸から、遊行寺、有田家住宅、桔梗屋、蔵まえギャラリー、グリーンハウス等近隣の公開歴史的建造物のネットワークを形成する位置にもあります。

# 旧モーガン邸の価値を継承し、藤沢のまちづくりに貢献する施設の整備と運営を行います

## 1. 敷地の一体的利用

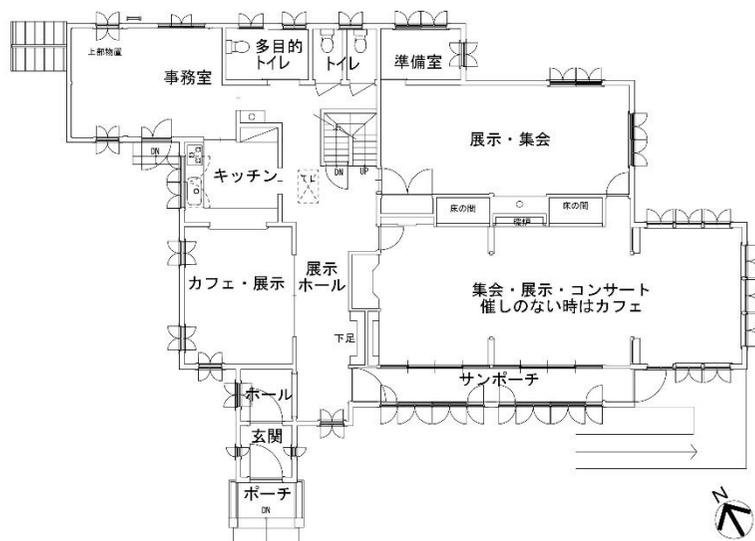
ヨコハマヘリテイジは、焼損した建物を再建し、土地・建物の一体的利用を出来るように進めます。

## 2. 修復・復元による再生

建物は、焼け残った玄関を修復保存しつつ、調査した図面等資料に基づき、外観や主要な部屋は本来の魅力を再現します。

## 3. 藤沢ヘリテイジセンター+公益施設として活用

再建する施設は、ヨコハマヘリテイジの藤沢ヘリテイジセンターとします。そして建築家 J.H.モーガンの事績や、旧モーガン邸保存活動の経緯、ヨコハマヘリテイジの活動を紹介するコーナーを設けるとともに、藤沢市民や地域住民の交流文化活動、福祉活動等を展開する公益施設として活用します。



建物の利活用計画図 1階平面計画図

## 4. さまざまな野外活動の場

敷地全体も、現状の外構を活かしつつ、自然環境学習、菜園・花卉園等をはじめとする様々な野外活動の場として活用します。敷地全体の整備は藤沢市民・地域住民や学生、ヨコハマヘリテイジ会員の参加を得て、整備作業が環境学習活動となるように進めていきます。



敷地利用計画図

## 5. ヨコハマヘリテイジと市民の幅広い協働運営

施設の運営・維持管理はヨコハマヘリテイジが、旧モーガン邸を守る会、藤沢市民やヨコハマヘリテイジ会員などと協働して行います。

## 6. 資金調達に合わせた段階的整備

建物の再建事業は皆様からの募金によって行います。まず建物外観と主要な部屋の内装、設備を整備します。引き続き募金活動を継続し、施設をより充実させます。

# 事業計画と募金計画

## 1. 事業の進め方

- ・ 事業の執行責任者は(公社)横浜歴史資産調査会(ヨコハマヘリテイジ)です。
- ・ 施設計画、施設利活用計画、事業計画は、ヨコハマヘリテイジ・旧モーガン邸を守る会・学識経験者の三者よりなる「旧モーガン邸再建委員会」で協議して決定していきます。
- ・ 藤沢市も敷地の所有者であること、施設の機能が公益的性格を持つことから、ヨコハマヘリテイジ・旧モーガン邸を守る会・藤沢市の三者よりなる「旧モーガン邸再建活用検討会」で藤沢市の協力等が必要な事項等について協議・調整を行います。
- ・ 施設の運営維持管理については、施設の所有者及び管理者であるヨコハマヘリテイジのもと、旧モーガン邸を守る会や定期的な利用団体で構成する「(仮)旧モーガン邸管理運営協議会」で管理・運営・利用規約、日常の保守管理、設備・家具什器等の保守点検、費用分担などを協議して運用していきます。

## 2. スケジュールと募金計画

- ・ **第一期 募金目標額 10,000 万円**
  - 2022年 施設再建基本計画・施設利活用計画
  - 2022～23年 施設設計(基本設計、実施設計)
  - 2024～25年 工事入札、再建工事
- ・ **第二期 募金目標額 3,000 万円**
  - 2026年以降 運営開始、施設のグレードアップ、運営体制強化

## 3. 募金への寄付のお願い

- ・ 公益社団法人横浜歴史資産調査会は横浜市内だけではなく、全国各地の歴史的資産等の調査、保護、活用を目的とした内閣府認定の公益社団法人です。
- ・ 再建のための寄付を広く募っております。皆様のご支援を心よりお待ちしております。

個人 5,000 円(一口)

団体・企業等 100,000 円(一口)

- ・ ご寄付は何口からでもありがたくお受けいたします。ご寄付をして下さった皆様のお名前は、再建した建物内に掲示させていただきます。

※当公益社団への寄付は税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人の場合)又は法人税(法人の場合)の控除対象となります。詳しくは事務局からご案内します。

### 振込先

○ゆうちょ銀行 口座番号 00270-4-124271

加入者名 公益社団法人 横浜歴史資産調査会

※通信欄に「旧モーガン邸」と明記してください

○横浜銀行 店番号 316 県庁支店

普通口座 6046423

名義 公益社団法人 横浜歴史資産調査会

「歴史を生かしたまちづくりファンド」

お問合せ先:公益社団法人 横浜歴史資産調査会(ヨコハマヘリテイジ)  
事務局/〒231-0012 横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル 405  
TEL: 045-651-1730  
E-mail: yh-info@yokohama-heritage.or.jp